

# 予防

1	適正な品種の選定	レタス
---	----------	-----

## 管理ポイント

1	細菌性病害に対する感受性の高い品種の利用は避ける。	1点
レタスに発生して問題となる細菌性病害は、腐敗病、斑点細菌病、軟腐病で、いずれも生産現場で多発すると問題となる。品種により耐病性が異なるので、作型に合わせた品種選びが重要である。		



レタス腐敗病

- ・一般的な傾向として、エンパイヤ・マック系は、斑点細菌病には強いが、腐敗病、軟腐病に弱い。サリナス系は腐敗病には強いが、斑点細菌病、軟腐病に弱い。
- ・栽培圃場で、どの細菌病害の発生が多いかを把握し、次作はその病害に耐病性を持つ品種を選択する。
- ・品種の選定については、最寄りの普及センター等の関係機関に問い合わせる。

# 防除

2	農薬の使用全般	レタス
---	---------	-----

## 管理ポイント

1	農薬を使用する場合には、特定の成分のみを繰り返し使用しない。	1点
同一薬剤、同一系統剤を連用することにより、殺菌剤では薬剤耐性菌の発生が、殺虫剤では薬剤抵抗性害虫の出現が問題となっている。他系統とのローテーション散布が重要である。		



レタスにおけるナモグリバエによる被害（黄色く見えるのは蛹）

- ・病害で問題となっているのは、果菜類の灰色かび病（ベンゾイミダゾール系他）、キュウリ褐斑病(QoI 剤他)、細菌病(抗生物質他)などである。
- ・害虫では、葉菜類のコナガが顕著で、ナモグリバエ、アザミウマ類、コナジラミ類でも抵抗性の発達が報告されている。